

令和 3 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	山本 雅代
全体計画					経費区分	—			内線	3613		
事務事業名		15067 児童クラブ運営事業										
所 属		300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策		12020900 子育て環境の充実										
予 算		01 一般会計										
科 目		030205 民生費・児童福祉費・児童福祉等施設費										
事業		020000 児童クラブ運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
留守家庭児童に放課後の安心・安全な居場所を提供する。						放課後児童健全育成事業の実施。 民間児童クラブに放課後児童クラブの運営を委託。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
放課後児童健全育成事業として、放課後児童クラブの登録や利用料の徴収、指定管理者業務外の施設の維持管理や備品購入、民間児童クラブへの放課後児童クラブの運営委託等を行い、事業の円滑な実施を図ることができた。	・放課後児童健全育成事業の実施 ・放課後児童クラブの登録、利用料の徴収 ・指定管理者業務外の施設の維持管理、備品購入 ・民間児童クラブへの放課後児童クラブの運営委託
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		26,061	23,732
特 定 財 源	国庫支出金	2,581	6,260
	都道府県支出金	856	6,260
	地方債	0	0
	その他	0	3
一般財源		22,624	11,209
人 員 数 (人)	正規職員	0.5	0.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.4
人 員 コスト	正規職員	3,484.0	4,180.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	671.2
	計	3,484.0	4,852.0
市民一人当たりの経費		0.6	0.5
総額		29,545.0	28,584.0

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	509	消耗品費、食糧費
12節 委託費	22,798	学童保育システム委託料、民間児童クラブ事業委託料（2か所）
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,754	修繕料、使用料及び賃借料、備品購入費ほか

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,605	消耗品費、食糧費
12節 委託費	19,495	学童保育システム委託料、民間児童クラブ事業委託料（2か所）
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,632	修繕料、使用料及び賃借料、備品購入費ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	・子ども・子育て支援事業の放課後児童健全育成事業を推進する。 ・児童クラブの登録や、利用料の徴収を行う。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評価コメント	・児童が安全に放課後を過ごすことができ、保護者が安心して就労することができる。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	向上
評価コメント	・放課後児童クラブの管理運営を指定管理者に委託したことにより、市の業務をその監督や、児童の登録事務等に集約し、業務のスリム化を図る。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

・児童クラブの登録等について、指定管理者と連携し円滑に進めることができた。 ・未納となった利用料の徴収について、適切な督促等を行い、年度内の徴収を行うことができた。 ・指定管理者業務外の施設の維持管理、備品購入等を適切に行うことができた。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
利用者の登録、利用料の徴収業務は引き続き行政が行い、保護者が安心して放課後児童クラブを利用できるように努める	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
利用者の登録、利用料の徴収業務は引き続き行政が行い、保護者が安心して放課後児童クラブを利用できるように努める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	